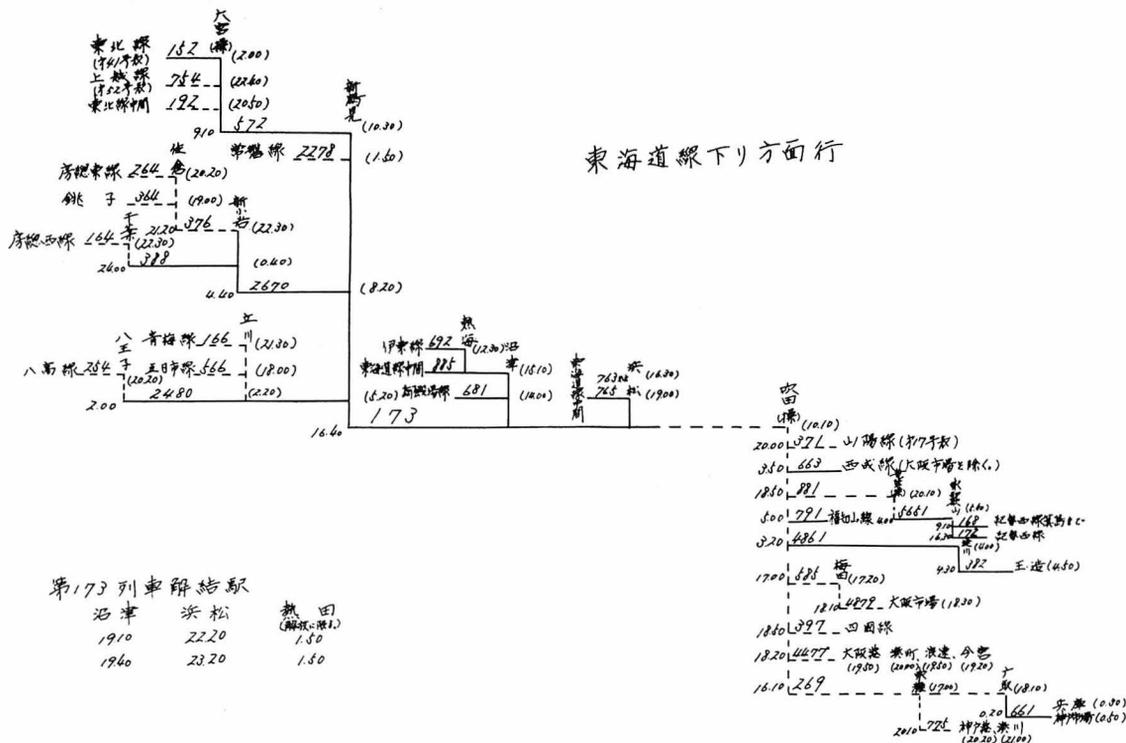


輸送列車および連絡船指定図表 (本文前ページ)



ら、1862年にアメリカ議会はユニオン・パシフィック鉄道会社を設立する法案を議決し、同鉄道会社はアイオワ州の西端からネブラスカ州の西端まで鉄道を建設することを許可された。その建設に対する財政的援助として土地が贈与され、株式発行に援助が与えられた。

線路建設は1865年にミズリー河渓谷から開始され、1868年末までに約1,600kmの線路が完成された。ユニオン・パシフィック鉄道が西へ向って線路の建設を進めていたころと時を同じくして、太平洋岸からは\*サザン・パシフィック鉄道(当時のセントラル・パシフィック鉄道)が東へ向って線路の建設を進めていた。これらの2つの線路は1873年、プロモントリーにおいて接続され、ここにアメリカ最初のいわゆる大陸横断鉄道を完成された。

新線の建設と小鉄道の買収により線路は急速に増加し、1893年にはその線路延長は12,368kmに達した。しかし同年ユニオン・パシフィック鉄道会社は種々の理由によって破産し、1897年その資産は売却され、新しく現在のユニオン・パシフィック鉄道会社が設立された。その後、同鉄道の経営者は車両の購入、施設の復旧、重軌条との更換、経営方法の改善によって現在のような大鉄道となる強固な基礎を確立した。

この鉄道会社はオレゴン・ショート・ライン鉄道会社、オレゴン・ワシントン鉄道会社、ロスアンゼルス・アンド・ソルトレーク鉄道会社およびセントジョゼフ・アンド・グランド・アイランド鉄道会社等の従属会社とともに・ユニオン・パシフィック鉄道系を構成している。

1955 暦年度の営業成績 (賃借線路を含む)

営業収入	509,362,476 ドル
営業費	370,526,330 ドル

営業係数	72.74 %
貨物輸送トン数	56,233,816 t
1 t 平均輸送キロ	998.10 km
旅客輸送人員	1,950,646 人
1 人 平均乗車キロ	1,186.05 km

貨物輸送トン数のうち、30.5%は鉱産物、29.9%は工業製品および雑品目、21.1%は農産物である。1951・12末現在の線路キロ数、車両数および従業員数(年間1日平均)はつぎのとおりである。

線路	総営業キロ	15,784 km
	自社所有線路営業キロ	14,723
	総軌道延長	25,960
	自社所有軌道延長	23,585
車両	蒸気機関車	422 両
	ディーゼル電気機関車	1,069
	ガス・タービン電気機関車	25
	貨車	52,212
	客車	1,051
	事業用車両	2,880

従業員 49,744 人

主要線路はネブラスカ州のオマハからユタ州のオグデンに達し、分岐して1つはソルトレーク・シティ、ラスベガスを経てロスアンゼルスに通じ、他はアイダホ州を経てオレゴン州のポートランドおよびワシントン州のシヤトルに達し、カンサス州カンサス・シティおよびコロラド州デンヴァーにも通じている。

この鉄道は多数のディーゼル電気機関車を所有しているが、さらにその増強をまってオマハと太平洋岸間のすべての直通列車のディーゼル化が計画されている。1948年にアメリカ最初の